

# 接近中の火星を見よう！

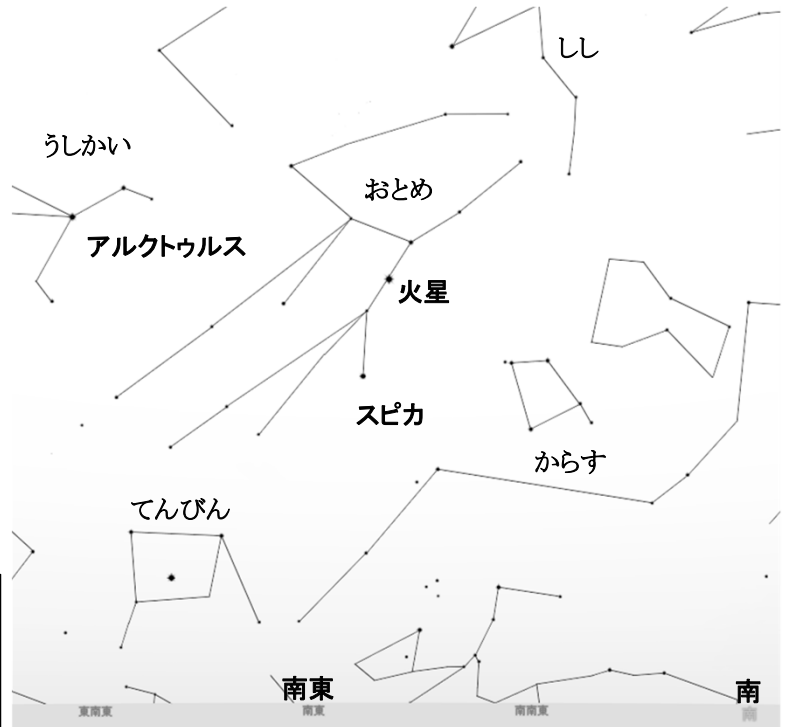
2年2か月ぶりに地球に近づく火星。4月14日が最接近ですが、その後一カ月くらいは赤く明るく輝く火星の姿を夜空に見ることができます。今回は小接近ですが、それでも夜空での存在感はなかなか。木星や土星に比べると見る機会が少ない火星。この機会にぜひ見てみましょう。

## 2年ぶり！マイナス等級の輝き

4月～5月の火星はおとめ座を移動中。夜の21時頃に南東～南の空に見えています。同じような色の明るい星、うしかい座のアルクトゥルスと間違えないようにしましょう。瞬いているかいないかで見分けることができます。火星をはじめ惑星は瞬きません。

## 明るさと位置の変化を追おう！

火星は4月14日に地球に最接近した後、徐々に地球から遠ざかっていきます。そのため明るさはだんだんと暗くなっていきます。太陽のまわりを回っていますから、位置も変わります。おとめ座のスピカを基準にすると①の変化がわかりやすいでしょう。動く向きが変わる（逆行から順行になる）ようすもわかりますよ。



2014年4月20日21時の南東～南の空のようす (AstroArts社製 ステラナビゲーター9で作成)

## 望遠鏡で見よう！

接近中の火星は望遠鏡で見ると模様が見えることがあります。昔の人が運河のようなすじ模様が見えると言った火星の表面...果たして皆さんの目にはどう映るでしょうか？ 空の条件が良ければ、白い極冠も見えるかもしれません。

